

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 9 - 8

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		町道防雪柵設置事業				
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	土木管理係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	大場利昭		氏名	田原慎也
事業の概要	本事業は、主に郡部町道における除雪路線の円滑なる通行の確保と除雪事業の効率化を図るため、特に吹き溜まりの激しい箇所に防雪柵を設置する事業であります。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	
事業費					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	11,050 千円
					事業費計	11,050 千円
実施方法	直営	民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~			
	基本施策	#	交通体系の整備			
	単位施策	1	道路環境の向上			
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	1,759 千円	1,729 千円	1,800 千円	2,210 千円	2,210 千円
	合計	1,759 千円	1,729 千円	1,800 千円	2,210 千円	2,210 千円

561

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	吹き溜まりによる交通障害。	防雪柵設置延長・撤去延長			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	冬期間の吹き溜まりが激しい路線の円滑な交通。	指標 (指標計算式 / 解説)	設置延長 / 設置延長の実績	目標年度	平成21年度
				目標値	665.4 m
				実績値	665.4 m
				達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	冬期間の吹き溜まり路線の交通及び安全性の確保。			目標年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
設置は民間業者による工事の実施	防雪柵の設置は、入札により民間業者に工事発注し実施した。				
撤去費は直営で実施	防雪柵の撤去は、直営により機械をリースし、派遣運転手、添乗員及び民間業者の作業員により実施した。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	冬期間の吹き溜まりの激しい路線箇所に防雪柵を設置し、円滑な通行の確保と除雪作業の効率化のためには、町が担う必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、円滑な通行の確保と除雪作業の効率化が図られた。
	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	入札により事業費が抑制できたこと、設置路線の見直しにより事業費を抑制したことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	冬期間の吹き溜まりの激しい路線に防雪柵を設置し、円滑な通行を確保できたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
計画通り防雪柵を設置し円滑な通行が図れたことは、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。	同左	



継続 / 現状維持	継続 / 現状維持	
除雪路線の円滑な通行確保と除雪作業の効率化のために、吹き溜まりの激しい路線箇所の防雪柵設置は必要であり、継続、現状維持が適当であると判断する。	同左	

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)